

66期生 入学おめでとう！

先輩となった2年生。最上級生となった3年生。 飛躍と自立の年です！！

全校の生徒のみなさん。おはようございます。先ほど、新入生267名の入学式が行われ、いよいよ全学年がそろい、西中学校の平成26年度が始まりました。

そこで、私は、次のような話をしました。

(以下要約した文章です。)



- 新しい制服に身を包み、期待と不安を胸に秘め、座っている皆さんを前にして、とてもうれしく思っています。
- 3月私は、西中学校区のある小学校の卒業式に参加しました。一人ひとりが「自分の夢」や「中学校生活への決意」を立派に語っている姿に感動しました。「勉強と部活を両立させたい」「野球部に入ってレギュラーを取りたい」「将来は獣医になりたい」など、皆さんの「夢」を実現する力をはぐくむ場所が西中学校です。
- 「夢」を持つことは大切なことです。皆さんの生き方の糧になるからです。「夢」を実現するためには、様々な困難と出会いますが、「夢」あきらめず、持ち続けることができた人だけに「夢」をかなえるチャンスがあります。
- 皆さんの先輩で杉原輝雄さんを知っていますか。杉原さんは西中学校に2期生で、20歳でプロゴルファーになり、プロのツアーで通算65勝、名誉終身シード権、同じ大会に51年連続出場した世界記録を樹立し、日本ゴルフ界をリードしてきた方です。
- 杉原さんは、決して体格に恵まれた方ではなく、大きな選手と互角に戦うために、人の何倍も努力をして正確な技術を身につけ、体格の不利をおぎなうために、様々な工夫をされ、「マムシ」(一度くいついたら離さない)と呼ばれるほど粘り強く戦ってこられました。また、晩年には癌と闘いながら14年間試合に出続けるという不屈の精神力を持った方でした。
- 杉原さんは、どんな困難に出会っても、決してあきらめず、「夢」を実現され、私たちにあきらめなければ「夢」がかなうこと教えてくれています。

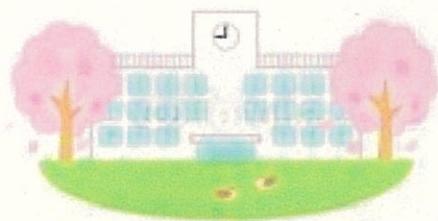
- ・ 杉原さんは、自分を応援してくれる人や、ゴルフ場に見に来てくれる人、自分の周りにいる人たちをとても大切にしました。どんなに疲れていても、サインを求められたらそれに応じ、応援してくれる人たちに対する感謝の気持ちを忘れることはありませんでした。
- ・ そんな杉原さんが西中50周年記念誌に、中学校時代の先生との出会いや、友人との楽しかった思い出を寄稿してくれています。
- ・ 皆さんもこれから、先生や友人と出会い、互いに知り合い、ともに勉強や運動をしながら、互いの良さを認め、かけがいのない仲間をつくってほしい。支えてくれるすべての人に対する感謝の気持ちをもってほしい。それが「夢」を実現する力になります。
- ・ 西中では自分一人の力だけでなく、生徒会を中心に創っている、みんなでみんなが良くなる環境や取り組みがあり、皆さんを応援してくれています。まず、明日、2年生の先輩たちが新入生歓迎会で教えてくれると思います。
- ・ 中学校生活に決して心配することはありません。西中で、自分に力をつけ、仲間の力を借りながら、楽しい思い出や困難を乗り越える体験を積み重ね、自分の「夢」の実現に向け、頑張ってください。



入学式での話をふまえて皆さんに伝えておきたいことがあります。

人には、得意なことと、苦手なことがあります。得意なことは自信があって、進んでできても、苦手なことには気が進まない。やれる自信がない。皆さんもこんな気持ちになったことがありますか。でも、どの人も「良くなりたい」と思っています。勉強であれば「わかりたい」と思っています。そんな時はあきらめたり、自分をごまかすことはやめて、一步踏み出してみませんか。皆さんは決して一人ではありません。まわりのみんなも「良くなりたい」気持ちをもっているんです。そして、誰でも良くなる力があるのです。

『J4(授業4ヶ条)』『J3(授業3ヶ条)』『クラスを見る窓』や『クラス・班』を大切にするということは、自分の力とみんなの力を高めることとつながっています。



それでは、最後に、もう一度、「誰でも良くなりたいと思っている」。そして、「誰でもその力がある」。そのことが一人ひとりの力とみんなの力があわさって、すばらしいこの1年になることを期待して私の始業式の話とさせてもらいます。